

人類はどこから来てどこに行こうとしているのか
創世記1章～3章

イントロ：

1. ハーベストフォーラム東京では、創世記の講解メッセージに入った。
2. 今回は、創世記1章～3章を1回で語りたい。
3. きょうのメッセージをなぜ聞かなければならないのか。
 - (1) 日本は自殺大国
 - ①自殺者数は、2007年に33,093人。連続10年3万人以上（警察庁統計資料）
 - ②交通事故死。2006年に6,352人。
 - ③3分の2以上が男性。年齢と自殺者数とは正比例する。
 - (2) 自殺の原因（3大原因で84パーセントを占める）
 - ①健康問題 48%、②経済・生活問題 24%、③家庭問題 12%
 - (3) 旧ソ連邦の例：ストレス、そして心の病気、特に、うつ病の状態
 - (4) うつ病は、ありふれた病気。一生のうちでうつ病にかかる人は14人に1人とも。
 - (5) 問題は、人間の価値の源泉をどこで見出すかに尽きる。

創世記1章～3章は、私たちがどこから来てどこに行こうとしているかを教えている。

I. イントロダクション（1：1～2：3）

1. 1節と2節の間に、ギャップがある（Gap Theory、Restitution Theory）
 - (1) 創世記1：1と2の間に、時間的な隔りがある。
 - (2) 1節：天地は完璧な状態で創造された。無から有の創造。
 - (3) 2節：完璧な天地が、カオスになっている。
 - ①1節と2節の間に、サタンの墮落がある。
 - ②長い時間を想定する必要はない。
 - ③恐竜の生存をここに入れようとする人がいるが、それは不必要であり、非聖書的。
 - (4) 3節以降：神による回復の業
2. 1～3日目と、4～6日目とが対応している。
 - (1) すべてよかった。
 - (2) 7日目に神は安息された。
3. 人の創造
 - (1) 「われわれに似るように、…人を造ろう」。それまでは、「○○あれ」。

- (2) 神の創造の御業がクライマックスを迎えたことを示している。
- (3) 「神のかたち」とはどのようなものか。
 - ① 「神のかたち」の外面的な性質。
 - * 人間は言葉を使用する。
 - * 顔に表情がある。
 - * 恥を感じるができる（顔が赤くなる）。
 - * 自然界を支配する能力がある。
 - ② 「神のかたち」の内面的な性質。
 - * 知性
 - * 感情
 - * 意志
 - * 霊性（神を認識する能力）

II. 第1のトルドット：天と地の経緯（2：4～3：23）

イントロダクション

- (1) 第1のトルドットが終わる時には、もとのカオス状態になっている。
- (2) その原因は、1節と2節の間にカオスがあるのと同じ理由。

1. エデンの園の創造

- (1) 再記述の法則
- (2) エデンという地域。植物がなかった。
- (3) そこにエデンの園が設けられた。
- (4) 理想的な環境
- (5) いのちの木
- (6) 善悪の知識の木

2. エデン契約（2：15～17）

- (1) どの木からでも思いのまま食べてよいが、善悪の知識の木から食べてはならない。
 - ① 人は、創造されたままの聖なる状態にあったが、それが定着していたわけではない。
 - ② 人は、罪を犯す能力も、犯さない能力も、併せ持っていた。
 - ③ この木は、人が神の権威を認めるか、神の命令に忠実であるかどうかを試すもの。
 - ④ この命令は、時限立法であり、人がそのテストに合格したなら、取り去られるもの。
 - ⑤ 合格すれば、人は罪を犯すことが出来ない状態、聖なる性質が確定した状態になる。
 - ⑥ これは、サタンと天使たちに起こったこと。

*サタンの反逆に加担した3分の1の天使たちは墮天使となった。

*残りの3分の2は、聖なる天使であることが確定した。

- (2) 善悪の知識の木から取って食べるその時、人は必ず死ぬ。
 - ①これは、霊的な死のこと、神との断絶のことである。
 - ②神の命令に違反した瞬間に霊的死が人を襲った。
 - ③しかし、肉体的な死は徐々にやって来た。

3. 助け手の創造

- (1) エデン契約の後のこと。
- (2) 助け手のいない男は未完成。
- (3) 「エゼル」という語は、否定的なものではない。
- (4) 「エリエゼル」の意味
- (5) 墮落の前には、上下関係はない。

4. アダムの違反と罪の広がり

- (1) 神から自立し、自らが神になること。
- (2) 人は、罪を犯さずにはおれなくなった。
- (3) エバよりも、アダムの責任の方が重い。
- (4) 子孫への影響。カインとアベル。

5. アダム契約

- (1) 蛇に対して
- (2) 女に対して
- (3) アダムに対して
- (4) 創世記3：15が最も大切。
 - ①「蛇の子孫」とは誰か。
 - ②「女の子孫」とは誰か。
 - ③「両者の戦い」の内容は何か。

結論 私たちが向かう先

- 1. メシアの死と復活は、創世記3：15の成就。
- 2. 千年王国は、エデンの園の状態の回復。
- 3. 新しい天と新しい地は、創世記1：1の状態の回復。
 - (1) 創世記1：3の光は、シャカイナグローリー
 - (2) 黙示録22：5の光も、シャカイナグローリー